



手打小学校で給食を試食(4月26日 総務文教委員会現地視察)

平成25年第1回定例会

- 平成25年度一般会計当初予算…………… P 2  
3年ぶりに500億円を下回る  
— 緊急経済対策関連の補正予算など可決 —
- 総括質疑並びに一般質問(代表質問・個人質問)…………… P 6
- 私たちが慎重にチェック(委員会報告)…………… P 15



薩摩川内

市議会だより

No.35

平成25年6月1日発行

発行/薩摩川内市議会  
編集/議会だより編集委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号  
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-5015

第1回定例会

平成25年度一般会計当初予算  
3年ぶりに500億円を下回る  
緊急経済対策関連の補正予算など可決

平成25年第1回定例会は2月27日から3月28日までの30日間の会期で開催しました。今定例会では、3年ぶりに500億円を下回ることとなった平成25年度当初予算をはじめ、緊急経済対策関連の平成24年度補正予算、企業立地支援条例など議案80件を原案のとおり可決したほか、2件の人事案件に同意しました。また、議員発議の環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加に関する意見書を可決しました。

前年度比1・4%減

一般会計当初予算

495億9千万円

平成25年度の一般会計当初予算額は、前年度比7億円減(1・4%減)の495億9千万円となりました。

平成25年度は、平成27年度以降における地方交付税の合併特例措置の段階的縮減を踏まえた財政運営プログラムによる歳出削減の取組を着実に推進するとともに、4つの政策重点項目を中心に各種施策を計画的に展開する予算となっています。

主な新規事業(政策重点項目)

政策重点項目とその主な新規事業は次のとおりです。

次世代エネルギーの導入推進

◆ 甌島EVレンタカー導入実証事業  
1千652万3千円

エコアイランド化を目指し、電気自動車レンタカーを導入して各種データ等の収集を実施するもの。

◆ スマートハウス(モデル)実証事業

4千500万円  
エネルギーの使い方にも配慮

した生活様式の確立に向けたスマートハウスを建設し、創蓄省エネルギーの体感等の実証を行うもの。

◆ 川内駅ゼロエミッション化検討事業  
1千500万円

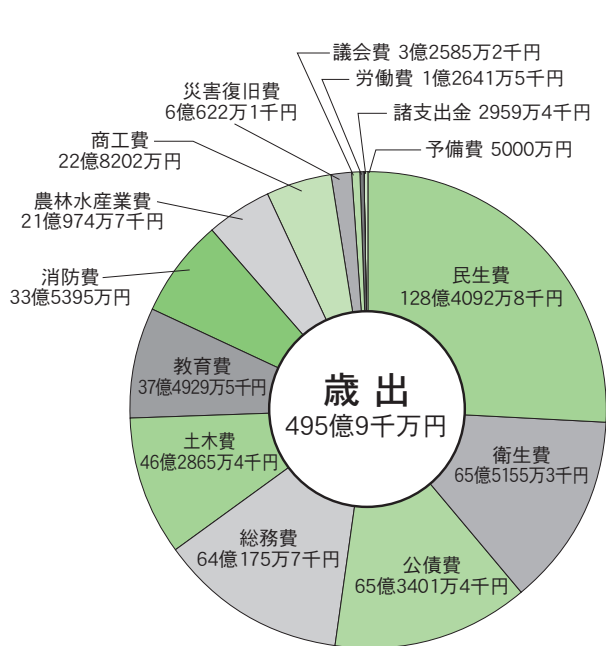
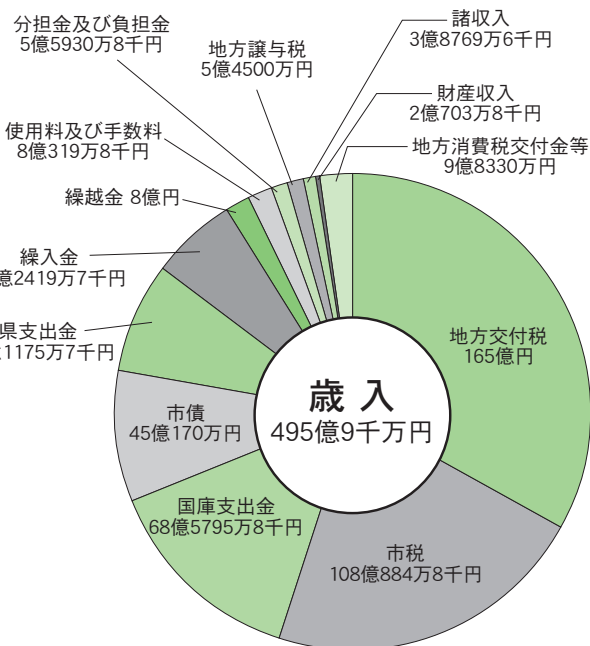
ゼロエミッション川内駅の実現や憩いの場の空間づくりを検討するための調査を実施するもの。

◆ NPO等の活動支援制度の強化

◆ 市民活動支援補助金  
1千324万9千円

自ら企画して公益的活動を行う市民活動団体等の実施す

平成25年度 一般会計当初予算





る事業に対し補助金を交付するもの。

**成長戦略の展開による地域雇用の創出**

**◆地域資源利活用事業**

215万円

地域資源を活用した特色ある交流体験事業を実施し、地域の活性化やコミュニティビジネスに繋げるもの。

**◆6次産業化推進事業**

1千169万4千円

農林漁業者の所得の向上と経営の安定を目的に6次産業化の推進に必要なビジョン策定等を実施するもの。

**◆新産業創造事業補助金**

2千830万円

中小企業の活性化や起業創出のため、異業種参入、転業、起業及び雇用にかかる経費の一部を補助しようとするもの。

**次世代エネルギー関連産業の育成と立地促進**

**◆次世代エネルギー導入促進事業支援業務委託**

2千500万円

関連事業者間の調整・マッチング等の事業を実施するほか、高度な知見や経験を有する外部

人材を活用し計画を具現化していくもの。

一般会計当初予算については次のとおり討論がありました。

**反対討論**

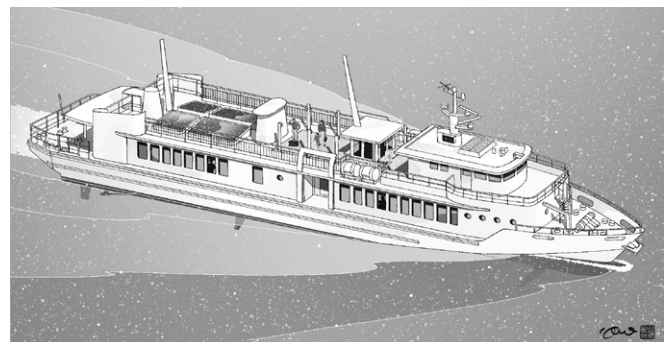
井上 勝博 議員

①原発ゼロの地域経済再生を進めるべき②富士通（FIM）に対して、雇用、地域社会への責任を果たしていないなど抗議をすべき③甌島市民が納得していない高速船建造よりも甌島の観光振興策に力を入れるべき④これ以上の小中学校統廃合はやめるべき⑤地元中小企業の支援正規雇用の増、賃金引上げのための支援に力を入れるべき⑥市内にある残り2棟の雇用促進住宅も購入すべき—などの問題点があることから本予算に反対する。

**賛成討論**

中島 由美子 議員

前年度より1・4%減となったが、次世代エネルギー施策、成長戦略の展開による地域雇用の創出、社会保障分野にもしっかりと配分された予算となっておりことから本予算に賛成する。



平成26年春に就航予定の新高速船「甌島」（イメージ図）

**■平成25年度各特別会計当初予算**

会計名	予算額
簡易水道事業	5億5,512万円
温泉給湯事業	5,051万円
公共下水道事業	4億5,514万円
農業集落排水事業	2億597万円
漁業集落排水事業	7,167万円
浄化槽事業	1,593万円
天辰第一地区土地区画整理事業	8億5,058万円
川内駅周辺地区土地区画整理事業	2億9,908万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	5億2,193万円
川内駅周辺地区土地区画整理事業清算事務	340万円
国民健康保険事業	123億1,243万円
国民健康保険直営診療施設勘定	9億4,696万円
介護保険事業	104億7,434万円
後期高齢者医療事業	11億354万円
14特別会計の合計	278億6,660万円

**■平成25年度各公営企業会計当初予算**

会計名	予 算 額	
水道事業	収益的収入	13億1,251万9千円
	収益的支出	12億6,778万6千円
	資本的収入	3億2,031万8千円
	資本的支出	9億9,174万5千円
工業用水道事業	収益的収入	2,083万5千円
	収益的支出	1,696万8千円
	資本的収入	0円
	資本的支出	0円

**278億6千660万円**  
**14特別会計当初予算**

平成25年度の各特別会計の当初予算総額は、前年度比0・1億円増の278億6千660万円となりました。

**国民健康保険事業特別会計**

本件については、次のとおり討論がありました。

**反対討論**

井上 勝博 議員

一般会計からの繰入れをして、未だ不十分であり、

増額を望む。滞納者の相談体制づくりなど、抜本改善をすべきであることから本予算に反対する。

**後期高齢者医療事業特別会計**

本件については、次のとおり討論がありました。

**反対討論**

井上 勝博 議員

年齢で区切って別枠の医療保険に囲い込み、高い負担で安がりの医療を押しつける本制度は廃止すべきであることから本予算に反対する。

# 平成24年度一般会計補正 14億円を追加計上

— 観光物産協会の株式会社化で質疑— 5会派・3議員

平成24年度一般会計は、第7回から第9回までの3補正により14億8万円を追加し、総額53億6441万円となりました。観光物産協会の株式会社化関係予算を含む第7回補正については、5会派の代表質問と3議員の個人質問による総括質疑を経た後、定例会中日に原案のとおり可決しました。

## 第7回補正予算

2月27日の定例会初日に上程された第7回補正は、委員会付託を省略し、3日間（3月8日・11日・12日）の総括質疑を経て12日の本会議において、原案のとおり可決しました。

本補正は、国の補正予算に対応した緊急経済対策予算、国県補助事業における補助内示及び制度改正等に伴う増減補正等が主なもので、一般会計では2億8千690万9千円の増額となりました。

総括質疑では、(株)薩摩川内観光物産協会設立（観光協会と特産品協会を統合し、株式会社を設立）に係る200万円の出資

- 金について①議会への説明が遅れた理由②設立を急ぐ理由③株式会社化の目的と運用方法④平成27年度の売上目標2億円の根拠⑤市からの補助金の期限⑥役員の選出方法⑦市長の決意—などのほか、川内港シャトルバス（電気バス）について緊急経済対策事業で購入する理由等を問いました。
- 【関連／6ページ総括質疑並びに一般質問】
- 川内港シャトルバス等購入事業 1億300万円
  - 道路舗装補修事業 2億円

○地域経済活性化・雇用創出臨時交付金事業 2億5千万円

○亀山小屋内運動場新增築事業 3億1千738万5千円

○財団法人解散事務補助金 4千万円

○観光物産協会設立事業 200万円

一般会計補正について、次のとおり討論がありました。

## 反対討論

井上 勝博 議員

川内港シャトルバス購入事業の電気バスは高価である。十分な検討がされておらず市民の理解は得られないと考えることから、本案に反対する。

## 第8回補正予算

第8回補正は、定例会中日の3月12日に上程。委員会付託を省略し、同日の本会議審議の後、原案のとおり可決しました。

本補正は、寄付金に伴う次世代エネルギー推進基金への積立金の増額（350万円）と、消防通信指令センター総合整備事業に係る契約確定による減額（△1億9千174万4千円）等により、一般会計で1億7千120万円の減額となりました。

## 第9回補正予算

第9回補正は、定例会最終日の3月28日に上程。委員会付託を省略し、同日の本会議審議の後、原案のとおり可決しました。

本補正では、国の補正予算に対応した緊急経済対策予算と特別交付税等の交付額決定に伴う財政調整基金の積立のため、12億8千437万1千円を追加。平成24年度一般会計は、総額5

36億4千641万円となりました。

## 主な事業

- 超小型モビリティ導入実証事業 3千492万3千円
- 原子力災害対策施設等整備事業 3億9千228万円
- 財政調整基金積立金 8億5千616万8千円

# クローズアップ 条例・意見書

## いこいの村いむた池を 民間譲渡へ

「薩摩川内市いこいの村いむた池条例を廃止する条例の制定について」を可決しました。

いこいの村いむた池を普通財産に変更し、効率的かつ効果的な財産活用を図るものです。この条例は、施行日を規則で定めることとしており、公募により民間譲渡先が決定した後に、廃止されることとなります。



民間譲渡を予定しているいこいの村いむた池



## 市職員給与を 平均2・5%減額

「薩摩川内市職員の給与の特例に関する条例の制定について」を可決しました。

本市の厳しい財政状況等を考慮し、職員の給料月額を平成25年4月から平成27年3月までの間、平均2・5%減額するものです。

なお、本件については、次のとおり討論がありました。

### 反対討論

井上 勝博 議員

職員給与の引下げは、社会福祉協議会や民間の給与にも連動する。給与引下げ競争は地域経済をますます疲弊させるので、これ以上の削減は行うべきでないことから本案に反対する。

## 新分野にも 支援制度を拡充

「薩摩川内市企業立地支援条例の制定について」を可決しました。

本市経済の浮揚及び雇用の増大を図るため、これまでの企業

立地促進条例を全部改正して、企業立地の支援に係る条例を制定するもので、助成対象範囲は次世代エネルギーや医療・介護周辺施設などの戦略ビジネス分野に拡大されます。

## 樋脇公民館が完成

「薩摩川内市公民館条例の一部を改正する条例の制定について」を可決しました。

樋脇公民館の建替えに伴い、施設の使用料を定めるものです。



本年3月26日に完成した樋脇公民館

## はり、きゅう、マッサージ 助成回数を40回に引下げ

「薩摩川内市高齢者はり、きゅう、マッサージ等施術料の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を可決しました。

はり、きゅう、マッサージ等の施術料に対する助成制度について、回数の上限を年間60回から40回に引き下げるものです。

なお、本件については、次のとおり討論がありました。

### 反対討論

井上 勝博 議員

利用回数が減ることにより、鍼灸師を職業としている視覚障がい者の収入減につながる。高齢者の利用料負担も増えることから本案について反対する。

## 青瀬小跡地に 下甌保育園を開設

「薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について」を可決しました。

下甌地域の青瀬小学校跡地にへき地保育所「下甌保育園」

を開設するほか、所要の規定を整備するものです。

## 川内川宮里公園の施設使用料に ラグビー・サッカー場等規定

「薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について」を可決しました。

川内川宮里公園の施設使用料として新たにラグビー・サッカー場、グラウンドゴルフ場の使用料を定めるもので、10月1日から施行されます。

## 準景観地区条例を制定

「薩摩川内市準景観地区条例の制定について」を可決しました。

良好な景観が形成されている一定の地区について、景観法で定める準景観地区を活用し、景観の保全に必要な規制を行うものです。現在、長目の浜周辺地区について、地元地区コミュニティ協議会から準景観地区指定提案書が市長に提出されています。

## 財産仕分け・利活用方針に 基づき4施設を廃止

財産の有効活用、民間活力の活用、管理経費の縮減を図るため、公有財産利活用基本方針に基づき、4施設条例を廃止するものです。なお今回、廃止される施設は次のとおりです。

- 大内田集会所（入来地域）
- 樋脇地域集会所
- 江石運動広場（上甌地域）
- 瀬尾集会所（下甌地域）

## TPP交渉参加に関する 意見書の提出―可決

「環太平洋連携協定（TPP）交渉参加に関する意見書の提出について」を議員発議し、起立採決の結果、これを可決しました。なお、本意見書については、次のとおり討論がありました。

### 反対討論

井上 勝博 議員

本意見書は、政府のTPP交渉参加に反対の主張をしていない。参加の後押しになる懸念があることから本案について反対する。

# 総括質疑並びに一般質問

3月8日、11日、12日の3日間、総括質疑並びに一般質問を行いました。  
 今定例会で行いました5会派による代表質問と9人の議員による個人質問の中から、その主なものを紹介します。

【4ページ参照】

## 代表質問

5会派

むつみ会

兼実 議員  
 宮里



(仮称) 榑薩摩川内市観光物産協会について

**問** (仮称) 榑薩摩川内市観光物産協会の設置について、本市の将来都市像を見据え、地域社会へ貢献できる株式会社になるようにすべきである。市長の決意は。

**答** 九州新幹線全線開業を機に、本格的に観光行政に取り組んできたが、特産品の販路拡大や観光客の定着を図るには、特産品の開発から販売までを一貫して行う地域商社的な中核組織が必要であったことから、観光協会と特産品協会の統合による株式会社設立に至った。収益性を高め経営強化を図るため、早い時期に榑まちづくり薩摩川内との統合が望ましいと考

えている。将来、この会社を設立して良かったと評価されるよう支援していきたい。

川内港シャトルバス等購入事業について

**問** 平成26年春に高速船が川内港に就航することに伴い、川内駅・川内港間にシャトルバスが運行される。今回、電気バスの購入予算が計上されているが、既存のバス会社のバスの運行でよいと思うがどうか。

**答** シャトルバス導入については、当初、運行事業者で中古バスを購入し、車両償却費を市が負担することで検討していたが、中古バスを購入するよりも、国の補助事業を活用して、電気

バスを購入した方が市の負担が少なくなること、本市の次世代エネルギーのまちづくりに合致すること、バスの大型バッテリーが災害時の緊急電源設備として活用できることなどを総合的に判断して、電気バスを購入することとした。

公共事業を問う

**問** 普通建設事業費及び維持補修費は、まちづくりや地域経済に直結する。財政運営プログラムでは、今後30%削減していくことが示されたが、大規模事業を始め、新たに東郷地域小一貫校整備事業や榑脇高校跡地利活用事業を進めていかななくてはならない。30%削減は慎重にすべきと考えるが、そのためにも維持補修費計画の策定を急ぐべきでは。

**答** 今の段階で財政運営プログラムを見直すことは考えていないが、その削減額が少なくなるように、いろいろ方策を検討したい。普通建設事業費と維持補修費のバランスも考える必要があるが、現在、道路、橋梁等の維持補修計画の策定に取り組んでいるところであり、平成26年度には具体的な規模が把握できるところから、その際に調整したいと考えている。

合併特例債の起債可能期間の延長と市町村建設計画の変更手続は

**問** 合併特例債の起債可能期間は10年間であったが、このた

### 質問通告内容(要約)

- ①公共事業を問う
- ②合併特例債の起債可能期間の延長と市町村建設計画の手続きは
- ③基金の状況と運用を問う
- ④建設工事に係る入札契約制度の見直しを問う
- ⑤(仮称)榑薩摩川内市観光物産協会設立を問う
- ⑥入来麓伝統的建造物群保存地区等の管理運営の取組は
- ⑦雇用促進住宅購入整備事業の取組は
- ⑧岩切市長の政治姿勢を問う

一誠 議員  
 上野



薩摩爽風会



び5年間延長になった。①市町村建設計画の変更手続きは。②現在の合併特例債借入予定額200億円を、どこまで増額するのか。③合併特例債を活用した基金創設の考えは。

**答** ①計画期間の延長と財政計画の変更をする必要があることから、現在、県と事務手続きや変更箇所などについて協議を行っている。6月議会には提案したい。②今回の延長で、100億円程度増額したいと考えている。③財政運営プログラムでは、(仮称)地域活性化基金を設置することとしており、成長戦略分野を含む地域振興に関する事業に活用していきたい。

**問** 入来麓伝統的建造物群保存地区等の管理運営等の取組について

**問** このたび公開施設「旧増田家住宅」保全修理工事が完了した。本市の文化の拠点として、観光振興にも生かされるものとして期待したい。①その管理運営の考え方は。②清色城跡整備や駐車場・周辺整備等の一体的な取組は。

**答** ①維持管理費や見学者数

などを具体的に把握するため、当面は市の直営とするが、地元と協議しながら早い時期に指定管理者制度に移行できるように検討していきたい。②現在、国土交通省の補助を受けて入来小学校の石垣修景事業に着手したところである。今後、駐車場等の整備等のほか景観的な修景事業も実施する計画である。入来麓伝統的建造物群保存地区と清色城跡を一体とした復元整備や環境整備を実施していきたいと考えている。



本年4月1日から一般公開された旧増田家住宅

一心会

今塩屋 裕一 議員



質問通告内容(要約)

- ①二次予防事業対象者の把握について
- ②平成25年度の地域支援事業の取組は
- ③地域で支え合う地域福祉の推進について
- ④政府の方針と合わせて第5期介護保険事業計画の見直しを
- ⑤西回り自動車道の現状、課題は
- ⑥西方・湯田を観光と結び付けたインターの見解は
- ⑦本市区間にP A設置はできないか
- ⑧小・中学校における体罰・いじめの実態は
- ⑨体罰・いじめ等の調査・指導方法を問う
- ⑩道徳教育の現状、今後の方向性を問う

**問** 本市における高齢化社会対策を

**問** 市老人福祉計画・第5期介護保険計画には、基本目標の一つとして「地域で支え合う明るく活力ある地域福祉の推進」が掲げられている。地域のつながりを再生するため、地域ぐるみで高齢者を見守る取組は。

**答** 薩摩川内地域見守りネッ

ト、災害時要援護者台帳の整備、健やか支援アドバイザーの訪問活動などがあるが、平成25年度は地域包括推進体制コーディネートターを配置し、地域包括支援センター、在宅介護支援センターを核とした見守り体制の連携強化と情報共有を図りたい。

**南九州西回り自動車道について**

**問** 薩摩川内高江ICと薩摩川内水引ICが開通したことにより、市内に薩摩川内都ICを含め3箇所のICが設置された。地元特産品の販売などによる観光振興のために、この区間にパーキングエリアを設置できないか。



薩摩川内高江IC—水引IC区間(本年3月10日から供用開始)

**答** 無料区間では、ICで自由に乗り入れができることから、パーキングエリアは設置されていない。無料区間となる見込みの本市内には、パーキングエリアの設置は難しいと考えるが、利用者の利便性や沿線の景観を生かす観点も踏まえ、対応の在り方を研究していきたい。

**本市における体罰・いじめ等への教育委員会の対応を問う**

**問** 国は小中学校のいじめ対策として、道徳の授業時間を増やすなど、本格的に取り組む姿勢を見せている。これまで教育委員会として道徳教育にどのように取り組んできたか。

**答** 道徳の時間は、小中学校の全学年で週1時間、年間35時間実施している。思いやり、親切、尊敬、感謝、生命尊重、公德心などの道徳的価値をそのまま教え込むのではなく、その素晴らしさ、大切さなどを子どもたちが実感できるように授業に取り組んでおり、心豊かにたくましく生きていく力を育てる道徳教育を目指している。

中島 由美子 議員



質問通告内容(要約)

- ①安心・安全の暮らしを守るために
  - ・学校施設の耐震化率の推移は
  - ・通学路の総点検を受けて、その後の見直しは
  - ・今回の入札制度の見直しによる効果は
  - ・初期消火、情報収集等に有効な消防活動用バイクの導入の考えは
- ②楽しく、安心して学べる教育環境整備のために
  - ・食物アレルギーを持つ子どもへの取組は
  - ・いじめ・体罰防止に向けての取組は

安心・安全の暮らしを守るために

緊急経済対策を柱とした国の補正予算を受けて、本市でも学校施設の耐震化工事などが前倒しで行われる。本市の学校施設の耐震化率は、今後どのように推移していくか。

東日本大震災以降、学校施設の耐震化に重点を置いてお

り、耐震化率は、平成24年度末で89・1%となっている。平成25年度には92%、平成26年度には96%となる見込みであり、平成27年度には閉校予定の学校を除き耐震化が完了する予定である。

楽しく、安心して学べる教育環境整備のために

給食に入っていたアレルギー食物を口にしたこと、調布市の女子児童が亡くなるという痛ましい事故が起きた。本市での食物アレルギーを持つ子どもへの対応はどのようなか。

基本的には保護者から医師の診断書とアレルギー検査結果表が提出され、学校長からもアレルギー対応の申出がされるようになっている。これらをもとに、保護者、担任、学校給食担当者等が個々の給食献立の内容を十分協議して対応している。なお、川内学校給食センターでは、食数が多いため代替食を持参させているが、ほかの学校給食センターでは代替食の調理器具を設置し、除去食、代替食を提供している。

佃 昌樹 議員



質問通告内容(要約)

- ①地域防災計画原子力災害対策編の大綱を問う
- ②(仮称)榊薩摩川内市観光物産協会の発足課題を問う
- ③甕島の地域ブランドマネジメントへの取組は
- ④産業廃棄物管理型最終処分場の建設の進め方は大丈夫か
- ⑤平成25年度予算の地域経済に有効な事業の拡大策について
- ⑥学校教育における「いじめ問題」、「体罰問題」を問う

原子力地域防災計画の大綱を問う

①計画の実効性についてどのように配慮したか。②30㎡圏域に広がったことによる計画の大きな変更点は。③UPZ外の計画は、どう考えているか。④UPZ外の放射線量拡散シミュレーションの必要性について。

改訂された国の指針は、新たな対策や基準が盛り込まれ、従前の指針に比べ実効性を確保したものとなっている。広域避難経路の複数化など実効性を高めていきたい。②20㎡圏域から30㎡圏域までの新たな広域避難計画、緊急時の避難等の防護措置を判断する基準が示されたことにより、具体的な対策を規定する必要が生じた。安定ヨウ素剤の事前配付等に関しては4月以降に計画を見直すこととしている。③UPZ外は広域避難計画には盛り込まないが、避難の基本的な考え方を規定することとしている。④UPZ外もSPEDIを活用して対応していく必要がある。また、測定局の増設のほかGPS追従型の測定装置の導入によりUPZ外も機動的に測定が可能となる。

学校教育のいじめ問題、体罰問題について

大津市のいじめ問題について第三者委員会から報告があった。①教育委員会はどう受け止めているか。②実態把握はできているか。③実態は教師間で共有ができる状況か。④教育委員会としての対応は。

いじめ問題は、どの学校でも起こりうることから、大津市のような事例を指摘されないよう真摯に対応していきたい。②国の調査では、1468件を把握しており、丁寧に対応し、すべて解消している。また、昨年11月から本市独自に毎月アンケート調査による把握も行っている。③いじめ事例を把握した場合、生徒指導委員会を開催し、その結果を全職員で確認、共有している。また、職員朝会等で取組を報告しながら全校体制で対応している。④具体的な実態把握を行い、各種研修会や学校訪問等において、随時指導に努めている。今後も、学校を適切に指導・支援し、重大な問題が発生した場合は、解決に向け関係機関と一体となって取り組んでいきたい。





# 個人質問

議員9人

福元 光一  
議員



**(仮称)宮崎バイパスの整備はどのように考えているのか**

**問** 宮崎バイパスが早く着工され完成しないと、車の騒音、交通渋滞及び事故の危険性により川内郡山線から梅ヶ淵橋までの沿線住民が困る。早期着工についてどのように考えているか。

**答** 県での整備について要望を続けているが、本年3月の県議会での一般質問の中で、県当局から、「薩摩川内市において策定中の広域避難計画や市のまちづくりの方針等を踏まえながら、今後検討していきたい」旨の一步進んだ答弁があった。交通渋滞の解消等も含め、早期事業化に向けて引き続き県に要望していきたい。



市道 宮崎・平佐麓線の梅ヶ淵橋付近

**津波注意表示看板設置関連について**

**問** 東日本大震災の深刻な被害は、他人事では済まないような気がする。本市も市内全域に津波注意表示看板を設置したがる。津波対策について小中学校にどのように指示しているか。

**答** 文部科学省が配付した「学校防災マニュアル作成の手引き」をもとに、各学校の立地条件等を考慮して、避難場所や避難経路・方法等を再検討しながら、学校独自の防災マニュアルを作成するよう指示している。その内容や避難訓練の実施状況なども把握している。

新原 春二  
議員



**成年後見制度に係る市民後見人の育成の取組は**

**問** 高齢化社会になるといろいろな社会問題が発生する。その中で成年後見制度の充実が急がれる。①成年後見制度に関する市の取組内容は。②その事業の今後の取組は。

**答** ①平成23年度から、国のモデル事業により、制度の広報・啓発を行うシンポジウムと、市民後見人の育成のための養成講座を開催している。なお、この養成講座では、12人に修了証を交付している。②モデル事業が平成24年度で終了するため、平成25年度からは、介護保険事業の任意事業の中で市民後見人の育成を図っていくこととしている。

**国民文化祭の取組は**

**問** 平成27年に第30回国民文化祭が、鹿児島県で開催される。

①本市での取組は。②開催に伴い多くの来客が予想されるが、おもてなしの取組など市民運動はどのように展開されていくのか。

**答** ①市文化協会等と協議して、人形浄瑠璃、甕島の生活と文化の祭典、全国まごころ短歌大会、全国はんや、川柳の祭典の5事業の開催を県に要望しているところである。②観光PRの絶好の機会であり、教育委員会だけでなく、観光・シティセールス課等も含めて全庁的に進め、文化協会等とも連携しながら全市的な取組にしていく。

成川 幸太郎  
議員



**武道必修の取組状況は**

**問** 改訂中学校学習指導要領の完全実施により、武道が必修科目となり、1年が経過した。①各学校での種目選択状況は。②事故の発生は。③所期の目標に対して順調に指導・理解がさ

れ、成果があったか。

**答** ①中学校14校のうち、柔道が10校、剣道が3校、両方を選択している学校が1校である。②柔道で手の捻挫、後頭部の打撲など3件発生したが、いずれも軽傷であった。③基本的な技や作法を習得することができた満足感を味わっており、武道の伝統的な考え方の良さを理解しつつある。

**横馬場田崎線の交通安全対策は**

**問** 横馬場田崎線整備事業が完了し供用開始となった場合、限之城高城線から福崎自動車学校までの区間は、危険な状況が想定されるが、その安全対策をどのように考えるか。

**答** 供用を開始すれば、大型車両の通行も増加することから、早い時期に警察や交通安全協会などと協議しながら、具体的な安全対策を検討していきたい。現在、この区間で行っている舗装整備等に併せて路側線等の引き直しを行い、歩行者の安全確保に努めていきたい。

尚 議員  
由 議員  
谷津



**財政運営プログラムは、本市財政の指針であり、誰でもすぐ分かる指標にすべき**

**問** 財政運営プログラムの財政見通しの指標は、普通会計基準であり、一般会計と特別会計との単純比較での判断が困難。併せて期末の見込額では指針とはならない。早急に指標の改善が必要と考えるがどうか。

**答** 全国の類似団体や県内各市と比較する際、普通会計の決算統計ベースが評価しやすいことから、これを指標としているが、指摘のあった課題については、今後研究してみたい。

**財政運営プログラムを踏まえた第3次定員適正化方針について**  
**問う**

**問** 本市の財政面の到達点は、財政運営プログラムによって明確化した。次はこれをどのよう  
に具現化していくかである。第3次定員適正化方針は、人件費

部分のみならず、組織形態をもリンクさせなければならぬと考えるがどうか。

**答** 事業の縮減に伴う業務量の削減や本庁・支所を含めた組織機構の見直し等により職員が1000人以下となるよう検討していきたい。

博 議員  
勝 議員  
井上



**周辺地域の人口（特に若者）の減少と対策について**

**問** 合併後の地域別年齢人口の変化の特徴として、旧4町4村の人口減少、特に年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15歳～64歳）の減少が著しい。若者の減少に歯止めをかける対策はないか。

**答** 定住促進補助制度を実施しており、周辺地域には補助金を手厚くするとともに、若者の転入促進を図るため、子どもを持つ転入者に補助金の加算を行っている。また、甌島地域では

こしき子宝支援事業を実施しており、新たに離島高校生修学支援事業の実施を予定している。

**公有財産利活用方針によって市民の負担は**

**問** 公共施設を譲渡・貸付・売却する方針であるが、集会所の譲渡を受けても維持管理費や老朽化した後の解体費用などの負担が生じる。温泉施設の民間売却によっても利用料の値上げなどさまざまな負担が市民に生じるのでは。

**答** 各種団体等と処分内容について協議し、理解いただいた場合に、譲渡等の手続きに入ることとなる。利用料等についても、その協議の中で決まってくるため現時点では未定である。公衆浴場などは民間と類似したサービスを提供しており、民間と同レベルのサービスのであれば負担は増えるかもしれないが、民間に委ねられるものは委ねていきたい。



彦 議員  
是 議員  
江口



**甌島の活性化・振興策を問う**

**問** ①甌島における電気自動車（EV）導入実証事業の狙いと効果は。②Dr.コトーの島を離島医療のシンボルとして生かす、全国へ情報発信しては。



導入予定の電気自動車

**答** ①国の補助事業等を活用しながら、行政が主導して電気自動車や充電設備を積極的に導入することにより、市民への普及啓発を図りたい。また、観光

客の走行ルートなどのデータを蓄積し、新たな観光ルートの開発にもつなげていきたい。②モデルとなった瀬戸上所長の意向を確認の上、関係課で協議していきたい。

**住み慣れた地域で安心して老いることができるような高齢化社会を**

**問** 国が地域包括ケアを推進するため、特に力を入れている「地域ケア多職種協働推進事業」と「在宅医療連携拠点事業」の2事業について、本市における取組は。

**答** 地域ケア多職種協働推進等事業は、市で取り組める事業が限定され、既に他の補助事業を活用していることから実施していない。在宅医療連携拠点事業は、医療関係団体が取り組んでいる事例がほとんどであり、関係機関と十分な協議が必要であることから現段階では実施していない。なお、在宅医療の体制等については、今後医師会等と協議していきたい。



川添 公貴  
議員



### 財政運営プログラムについて

**問** 財政運営プログラムは、定期的な見直しを3年ごとに行うとなっているが、政府の政策・景気などをかんがみ、単年度ごとに見直すべきでは。

**答** 単年度ごとの見直しとすると目標が定めきれないことから、短期計画の見直しは3年がベターと考える。社会情勢などに変化が生じたときは、柔軟に対応して見直していきたい。

### 角竜類「ケラトプス」の発見を受けて

**問** 甌島の鹿島町では、アンモナイトも出土している。ケラトプスの展示と併せて、アンモナイト発掘などの体験型観光の誘致が考えられないか。

**答** 恐竜の化石は、観光素材としては一級品であり、甌島を総合的に売り出す際の大きなインパクトになると考える。体験

型プログラムとして活用できないか教育委員会を含めて検討していきたい。



川内まごころ文学館での恐竜化石展(平成21年7月～8月)

福田 俊一郎  
議員



### 原子力防災等訪問事業について

**問** ①原子力災害対策重点区域が30<sup>〇</sup>圏に決定。原子力防災等訪問事業の計画期間と具体的な取組は。②PAZ(5<sup>〇</sup>圏)の人口と世帯数は。③原子力災害対策指針における安定ヨウ素剤の取扱いについて、PAZ圏の住民説明と事前配付の計画は。

**答** ①平成25年度単年度事業であり、30<sup>〇</sup>圏内すべてを訪問することは難しいことから、説明会や出前講座等を併用しながら、PAZ(5<sup>〇</sup>圏)内は、各戸を訪問し、UPZ(5<sup>〇</sup>～30<sup>〇</sup>圏)内は、高齢者や災害時要援護者を中心に戸別訪問することとしている。②本年1月現在、2874人、1494世帯である。③指針では、地方公共団体が事前に配付できる体制を整備することが盛り込まれているが、具体的な配付・服用方法は、今後の検討課題となっていることから、具体的に示され次第検討していきたい。

### 川内文化ホール施設整備事業について

**問** ①修繕工事の全体像は。②2次耐震診断では、柱・壁の強度と靱性は考慮されている。しかし、この土地は、川や水田の埋立地であることから、地盤の脆弱性を含めると耐震上安全といえるか。③新文化ホール建設のための基金積立を始める時は。

**答** ①これまで舞台関係設備、トイレ、ホール客席などの改修を行い、平成25年度はホール天

井の補強工事を予定している。耐震上問題がないことから建築後70年となる平成48年度までは使用したいと考えており、平成31年度までを目途に施設維持に必要な改修を計画している。改修費用は7億円と試算している。②これまで改修工事に合わせて地盤強化も行っており、問題ないと考える。③平成27年度から平成32年度までの財政状況をみたくて検討したい。



昭和41年に竣工した川内文化ホール

持原 秀行  
議員



### 天辰第二地区土地区画整理事業の早期着工を

**問** 天辰第一地区は、平成28年度完工に向け順調に進捗中で

ある。第二地区においては、川内川左岸堤防強化、浸水対策等を考慮し一刻も早く着手すべきと考えるが、今後の計画、事業展開は。

**答** これまで実施してきた環境影響評価の現地調査で、絶滅危惧種の動植物が発見されたことから、影響のある都市施設等の配置計画を見直す必要がある。また、財政運営プログラムを考慮してコスト削減の検討も必要である。平成25年度において、これらの検討をすることとしている。

### 人件費削減の推移及び職員給与削減による地域経済への影響は

**問** 本年4月からの職員給与減額を目的とした給与の特例に関する条例が提案された。職員給与減額を実施することによる地域経済に与える影響についてどのように考えているか。

**答** 職員給与削減による消費・税収等の減のほか、職員給与が地域の民間企業の給与水準に連動している場合も考えられることから、地域経済に及ぼす影響は、少なからずあるのではと考える。

# 議 決 結 果 一 覧 表

議案番号	件名	付託先	議決結果												
議案第 1 号	薩摩川内市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決(全会一致)												
議案第 2 号	薩摩川内市議会政務調査費の交付に関する条例及び薩摩川内市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決(全会一致)												
議案第 3 号	薩摩川内市議会等に出頭した選挙人等に対する実費弁償条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決(全会一致)												
議案第 4 号	薩摩川内市いこいの村いむた池条例を廃止する条例の制定について	—	原案可決(全会一致)												
議案第 5 号	平成24年度薩摩川内市一般会計補正予算 [第7回補正] (補正額 286,909千円)	—	原案可決(賛成多数)												
議案第 6 号	平成24年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算 (補正額 Δ9,195千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 7 号	平成24年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計補正予算 (補正額 233千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 8 号	平成24年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計補正予算 (補正額 Δ334千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 9 号	平成24年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計補正予算 (補正額 Δ350千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 10 号	平成24年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 Δ7,402千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 11 号	平成24年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 Δ1,500千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 12 号	平成24年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算 (補正額 Δ7,967千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 13 号	平成24年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計補正予算 (補正額 Δ140,584千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 14 号	平成24年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (補正額 Δ15,172千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 15 号	平成24年度薩摩川内市介護保険事業特別会計補正予算 (補正額 Δ9,915千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 16 号	平成24年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (補正額 Δ12,165千円)	—	原案可決(全会一致)												
議案第 17 号	平成24年度薩摩川内市水道事業会計補正予算 <table style="display: inline-table; border: none; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">補正額</td> <td style="border: none;">収益的収入</td> <td style="border: none;">Δ33,500千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">収益的支出</td> <td style="border: none;">Δ31,780千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">資本的収入</td> <td style="border: none;">Δ67,557千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">資本的支出</td> <td style="border: none;">Δ70,142千円</td> </tr> </table>	補正額	収益的収入	Δ33,500千円		収益的支出	Δ31,780千円		資本的収入	Δ67,557千円		資本的支出	Δ70,142千円	—	原案可決(全会一致)
補正額	収益的収入	Δ33,500千円													
	収益的支出	Δ31,780千円													
	資本的収入	Δ67,557千円													
	資本的支出	Δ70,142千円													
議案第 18 号	平成24年度薩摩川内市工業用水道事業会計補正予算 <table style="display: inline-table; border: none; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">補正額</td> <td style="border: none;">収益的収入</td> <td style="border: none;">Δ569千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">収益的支出</td> <td style="border: none;">552千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">資本的収入</td> <td style="border: none;">0千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">資本的支出</td> <td style="border: none;">Δ23,540千円</td> </tr> </table>	補正額	収益的収入	Δ569千円		収益的支出	552千円		資本的収入	0千円		資本的支出	Δ23,540千円	—	原案可決(全会一致)
補正額	収益的収入	Δ569千円													
	収益的支出	552千円													
	資本的収入	0千円													
	資本的支出	Δ23,540千円													
議案第 19 号	薩摩川内市職員の給与の特例に関する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(賛成多数)												
議案第 20 号	薩摩川内市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)												
議案第 21 号	薩摩川内市補助金等基本条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)												
議案第 22 号	薩摩川内市土地開発基金条例を廃止する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)												
議案第 23 号	薩摩川内市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)												



議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第 24 号	薩摩川内市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 25 号	薩摩川内市入来地域集会所条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 26 号	薩摩川内市樋脇地域集会所条例を廃止する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 27 号	薩摩川内市入来麓旧増田家住宅条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 28 号	薩摩川内市下甌郷土館の指定管理者の指定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 29 号	薩摩川内市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教委員会	原案可決(全会一致)
議案第 30 号	薩摩川内市集会所条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 31 号	財産の無償譲渡について (瀬尾集会所の土地建物)	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 32 号	薩摩川内市工場立地法第 4 条の 2 第 2 項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 33 号	薩摩川内市国際交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 34 号	薩摩川内市企業立地支援条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 35 号	薩摩川内市甌島旅客待合施設条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 36 号	薩摩川内市甌島水産観光促進補助金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	企画経済委員会	原案可決(全会一致)
議案第 37 号	薩摩川内市が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格を定める条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 38 号	薩摩川内市重度心身障害者医療費の助成に関する条例及び薩摩川内市障害認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 39 号	薩摩川内市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 40 号	薩摩川内市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 41 号	薩摩川内市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 42 号	薩摩川内市在宅介護支援センター条例を廃止する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 43 号	薩摩川内市高齢者はり、きゅう、マッサージ等施術料の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(賛成多数)
議案第 44 号	薩摩川内市の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 45 号	薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 46 号	薩摩川内市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 47 号	薩摩川内市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 48 号	薩摩川内市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 49 号	薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 50 号	鹿児島本線川内駅構内 3 5 0 k m 3 2 0 m 付近の立体交差工事委託に関する基本協定の変更について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 51 号	市道路線の認定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 52 号	薩摩川内市準景観地区条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 53 号	薩摩川内市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 54 号	薩摩川内市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第 55 号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 56 号	薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 57 号	薩摩川内市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 58 号	薩摩川内市公共下水道及び都市下水路の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 59 号	平成 25 年度薩摩川内市一般会計予算	総務文教委員会 企画経済委員会 市民福祉委員会 建設水道委員会	原案可決(賛成多数)
議案第 60 号	平成 25 年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 61 号	平成 25 年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 62 号	平成 25 年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 63 号	平成 25 年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 64 号	平成 25 年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 65 号	平成 25 年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 66 号	平成 25 年度薩摩川内市北辰第一地区土地区画整理事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 67 号	平成 25 年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 68 号	平成 25 年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 69 号	平成 25 年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業清算事務特別会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 70 号	平成 25 年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計予算	市民福祉委員会	原案可決(賛成多数)
議案第 71 号	平成 25 年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 72 号	平成 25 年度薩摩川内市介護保険事業特別会計予算	市民福祉委員会	原案可決(全会一致)
議案第 73 号	平成 25 年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計予算	市民福祉委員会	原案可決(賛成多数)
議案第 74 号	平成 25 年度薩摩川内市水道事業会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 75 号	平成 25 年度薩摩川内市工業用水道事業会計予算	建設水道委員会	原案可決(全会一致)
議案第 76 号	消防通信指令センター総合整備事業消防通信指令センター総合整備工事請負契約の締結について	—	原案可決(全会一致)
議案第 77 号	平成 24 年度薩摩川内市一般会計補正予算 [第 8 回補正] (補正額 △171,200 千円)	—	原案可決(全会一致)
議案第 78 号	平成 24 年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算 (繰越明許費の設定)	—	原案可決(全会一致)
議案第 79 号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について	—	原案可決(全会一致)
議案第 80 号	平成 24 年度薩摩川内市一般会計補正予算 [第 9 回補正] (補正額 1,284,371 千円)	—	原案可決(全会一致)
議案第 81 号	監査委員の選任について (桑原 道男氏)	—	同意(全会一致)
議案第 82 号	公平委員会委員の選任について (下馬場 学氏)	—	同意(全会一致)

※ 議決結果欄について、「全会一致」は出席議員全員が賛成。「賛成多数」は出席議員のうち賛成者が多数であったことを示します。



# 私たちが慎重に チェック!

## 委員会 報告

### 常任委員会

各常任委員会において、付託された議案等の審査を行い、次のような意見・要望がありました。

#### 総務文教委員会

委員長 川添 公貴

3月18日・19日開催

(1) 議案第59号 平成25年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分

① 学校空気環境検査により、ダニ等の発生状況を確認しながら必要な衛生対策が講じられているが、万一にも児童・生徒に影響が及ぶことがないよう更に努力するとともに、PM2.5に対する自主的な対策も検討されたい。

② 固定資産税課税に係る土地地目の現況把握に当たっては、農業委員会との連携を更に図られたい。

(2) 所管事務の調査結果

① 行方不明捜索等の消防団活動は、長時間にわたる場合や数日にも及ぶ場合があることから、費用弁償についても配慮できないか検討されたい。

② 消防活動用バイクについては、

活用方法について先進事例を研究しながら早期導入に向けて努力されたい。

③ 少年自然の家での野外活動において、ツツガムシ等による被害が発生しないよう、入所団体とも連携を取りながら必要な指導や対策を講じられたい。

#### 企画経済委員会

委員長 佃 昌樹

3月14日・15日開催

(1) 議案第34号 薩摩川内市企業立地支援条例の制定について  
現在の国内情勢は厳しいが、本市にゆかりのある企業を中心に誘致に努められたい。

(2) 議案第36号 薩摩川内市甌島水産観光促進補助金に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
甌島の観光振興のためには、民宿のトイレや浴槽等を改修することも重要であることから、今回条件が緩和される補助制度を周知し、できるだけ早期に改

修が進むよう努められたい。

(3) 議案第59号 平成25年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分

① 樋脇高校跡地利活用事業については、地域活性化のためにも全国大会などが開催できるようなグラウンドゴルフ場となるよう整備に努められたい。

② 定住促進については、県内他市の取組を研究し、他市より条件を良くするなどして、更なる促進を図られたい。

③ 甌島の魚をもっと市民に食べてもらえるような仕組みを検討されたい。

④ 市内の農林水産業が一体となった6次産業化の推進や、流通・加工業界との連携の強化策を検討されたい。

⑤ 川内港シャトルバス運行事業の運行予定回数については、状況を見ながら増便も検討されたい。

⑥ 設立予定の株薩摩川内市観光物産協会については、6次産業化の推進に必要な生産者、加工・流通業者との連携を図るとともに、売れる商品の開発等により自立経営ができるよう積極的に協力されたい。なお、販路拡大に当たっては、市内業者との競合等について留意されたい。

(4) 所管事務の調査結果

FMさつませんだいを積極的に活用して、本市のPRに努められたい。



FMさつませんだい放送局

#### 市民福祉委員会

委員長 江口 是彦

3月18日・19日開催

(1) 議案第45号 薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について  
下甌保育園は、隣接に市立幼稚園があることから、甌島の子育て支援の充実を図るため、認定こども園への移行を早期に進められたい。

(2) 議案第59号 平成25年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分  
花いっぱいまちづくり推進事

業については、長島町等の先進事例も参考に、市民が参画しやすい事業設計を検討されたい。

### (3) 所管事務の調査結果

① 地域主権改革による権限移譲が進められているが、事務遂行に支障が生じないよう、移譲された事務量に応じた必要な職員数を確保するなど、適切な措置を講じられたい。

② 市の多くの事業が社会福祉協議会に委託され、地域に密着したサービス提供の仕組みが整えられつつあるが、受皿となる社会福祉協議会の機能強化への支援も検討されたい。

③ 生活保護受給者に対する就労支援の強化に努められたい。

④ 保育園の待機児童の早期解消に努められたい。

## 建設水道委員会

委員長 福田 俊一郎

3月14日・15日開催

(1) 議案第50号 鹿児島本線川内駅構内350km320m付近の立体交差工事委託に関する基本協定の変更について

工事内容を十分に把握し、積算根拠を確認した上で進められたい。

(2) 議案第59号 平成25年度薩摩

## 川内市一般会計予算のうち委員会付託分

① 公共下水道に接続されていない市民に対して、公共下水道等接続推進事業の補助金制度を活用されるよう周知しながら、接続率向上におお一層努められたい。

② 南九州西回り自動車道の建設促進のために、国・県等に対する要望活動を更に推進されたい。

③ 購入する雇用促進住宅入来宿舎の入居者募集に当たっては、地域への定住促進等につながるよう努力されたい。



雇用促進住宅入来宿舎

(3) 議案第60号 平成25年度薩摩川内市簡易水道事業特別会

## 予算

① 水道料金の滞納が発生しないよう収納に鋭意努められたい。

② 上飯地域の安定的な給水を図るため、水源施設の整備に努められたい。

(4) 議案第66号 平成25年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計予算

保留地は、草払い等の管理が必要となることから、早期に売却できるように取り組まれたい。

(5) 議案第67号 平成25年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計予算

事業終了に伴い清算金の徴収が必要となる場合は、関係者に対して十分な説明を行い、理解が得られるよう努められたい。

(6) 議案第68号 平成25年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計予算

関係機関等と連携を図りながら、事業に必要な盛土の確保に努められたい。

(7) 議案第75号 平成25年度薩摩川内市工業用水道事業会計予算

富士通インテグレートドマイクロテクノロジ(株)九州工場との事業譲渡後の工業用水道施設については、適切な維持管理に努めるとともに、今後の施設の在り方を検討されたい。

# 特別委員会

特別委員会において、付託された調査事項について審査を行いました。その概要は次のとおりです。

## 川内原子力発電所対策

調査特別委員会  
委員長 橋口 博文

川内原子力発電所の安全対策に関する調査

1月30日（現地視察）

今後の調査の参考とするため、次のとおり川内原子力発電所の現地視察を行いました。

(1) 緊急安全対策の実施状況及び更なる安全性・信頼性向上への取組状況について

緊急安全対策等の概要説明を受けた後、高圧発電機車、移動式大容量発電機、仮設ポンプの配備状況、海水ポンプ用モータ予備品等の保管状況を視察したほか、平成27年度を目途に設置される免震重要棟の敷地造成等工事について計画・設計を行うためのボーリング調査の状況を視察しました。

なお、高台に配備している高圧発電機車・移動式大容量発電機に対しては、1・2号機への

電源ケーブルが恒設化されていること、大型車両等を運転できる社員を増やすため、免許取得を進めているとともに、日頃から技術の習熟・向上のための緊急時対応訓練を繰り返し実施していることの説明がありました。

また、建屋の浸水対策として扉の補強及び水密化を行っている状況や漂流物対策の状況等について視察しました。

(2) 定期検査の状況等について

原子炉建屋及び燃料取扱建屋において、定期検査の作業状況を視察するとともに、1号機における燃料集合体の点検状況を確認しました。また、固体廃棄物貯蔵庫の保管状況も視察しました。

3月21日開催

(1) 川内原子力発電所の運転状況等について

当局から、1・2号機は引き続き定期検査中であること、放射性廃棄物の管理状況、使用済燃料の保管状況等の報告を受け



ました。

### (2)新安全基準骨子案について

当局から、国の原子力規制委員会が示した原子炉施設に係る新安全基準骨子案について説明がありました。本年7月の公布・施行に向けて検討中の新安全基準では、従来の安全基準である設計基準を強化するとともに、これまで事業者による自主的取組だったシビアアクシデント対策が新設されることの報告を受けました。

### (3)地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しについて

当局から、地域防災計画（原子力災害対策編）の見直しについて説明がありました。国の原子力災害対策指針を踏まえつつ、地域防災計画作成マニュアルを参考に、県地域防災計画と整合を図りながら本市防災計画を見直すことや、鹿児島県が、川内原子力発電所からおおむね5<sup>キロ</sup>を予防的防護措置を準備する区域（PAZ）とし、おおむね30<sup>キロ</sup>を緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）とすることから、本市においても、これらの区域内において各種防護措置等を実施することの報告を受けました。

#### ▽質疑

不特定多数が使用する施設や医療機関・社会福祉施設等にお

ける避難計画の作成についての質疑があり、今後、施設の管理者が避難計画を作成することとなっているが、作成に当たっては、計画の見本等を示すなどして、市も支援していく旨の答弁がありました。

#### ▽意見

計画の見直し内容を市民に理解してもらえよう避難訓練等を通じて周知に努められたい。

### 次世代エネルギー対策

#### 調査特別委員会

委員長 森永 靖子

1月31日開催

次世代エネルギーによる地域開発及び雇用創出に関する調査

(1)次世代エネルギーを活用したまちづくりの取組について

当局から、次世代エネルギーの利活用に取り組む理由、次世代エネルギービジョン・行動計画策定の流れ、本年度策定予定のビジョン（案）の内容等について説明を受けました。

#### ▽質疑

①ビジョン策定に当たって実施したアンケートの中で出された意見についての質疑があり、「エネルギーのまちであると言いがら暗い」、「市の玄関口である

川内駅にエネルギーを感じられるものを設置できないか」など多くの意見が出されており、これらを具体的な事業につなげていけないか検討している旨の答弁がありました。

②太陽光発電の買取価格について今後の見直しに関する質疑があり、現在、経済産業省の調達価格等算定委員会において、来年度の買取価格が検討されていることから、この動向に注視しつつ、市民への情報発信にも努めていきたい旨の答弁がありました。

(2)柳山ウインドパーク（風力発電）設置事業について

高江町柳山周辺に設置される風力発電所について、事業の進捗状況、今後の予定等について、当局から説明を受けました。



柳山周辺の風車設置イメージ

## 陳 情 の 処 理 状 況

陳情番号	件 名	提 出 者	付 託 先	結 果
陳情第 1 号	川内原発1・2号機再稼働反対の決議を求める陳情書	原発ゼロをめざす鹿児島県民の会	川内原子力発電所対策調査特別委員会	継続審査

## 意 見 書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

件 名	提 出 先
環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

今回の市議会だよりは、中越パルプ工業株式会社川内工場で生産されている環境に優しい国産竹を10%使った紙を使用しています。



(議員全員がシティセールスサポーターになっています)

議会の動き

- 27 2月 本会議  
議員全員協議会
- 8 3月 本会議 (一般質問)  
議会運営委員会
- 11 本会議 (一般質問)  
議会運営委員会
- 12 本会議 (一般質問)  
会派代表者会議
- 14 議会運営委員会  
企画経済委員会  
建設水道委員会  
企画経済委員会  
建設水道委員会
- 15 建設水道委員会

25 総務文教委員会(現地視察:26日まで)



横馬場・田崎線整備事業 アンダー部分工事

- 24 12 4月 議会だより編集委員会  
建設水道委員会(現地視察)
- 28 27 21 川内原子力発電所対策調査特別委員会  
議会運営委員会  
議会運営委員会  
本会議  
議員全員協議会
- 19 18 総務文教委員会  
市民福祉委員会  
総務文教委員会  
市民福祉委員会

第2回定例会予定

- 7 5月 議会だより編集委員会  
議会運営委員会
- 23 次世代エネルギー対策調査特別委員会  
川内原子力発電所対策調査特別委員会  
意見交換会(黒木・上手・大村・轟・蘭牟田地区)
- 24 24 6月 本会議  
議員全員協議会
- 21 本会議 (一般質問)  
本会議 (一般質問)
- 24 21 議会運営委員会  
本会議 (一般質問)
- 27 25 市民福祉委員会  
総務文教委員会  
建設水道委員会  
企画経済委員会
- 28 5 7月 議会運営委員会  
本会議  
議員全員協議会

※日程は変更になることがあります。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。  
【☎(23)5111】

本会議や委員会を傍聴してみませんか

本会議

原則、どなたでも傍聴できます

傍聴席数  
50席

手続き

市役所4階の傍聴席入口で、受付簿に記入し、受付箱に入れてから、傍聴してください。



委員会

委員長の許可を得て、傍聴することができます

傍聴席数  
第1委員会室 12席  
第2委員会室 16席  
第3委員会室 30席

手続き

市役所3階の議会事務局で受付をしてください。  
なお、委員会の開会時間30分前の時点で、傍聴希望者が定員数を超過している場合は、抽選により傍聴者を決定します。

◆ 議会のホームページで、本会議のライブ中継、録画中継を行っています ◆